

2014.1.16
豊栄地区公民館

北 区

北区自治協議会まちづくりワークショップのまとめ

新潟市北区自治協議会

北区自治協議会まちづくりワークショップ

実施概要



日時：2014年1月16日(木) 15:40~16:35
会場：豊栄地区公民館 2階 大ホール
主催：北区地域課、政策調整課
コーディネート：NPO 法人 まちづくり学校
大滝 聡、安田文子

当日のプログラム

時間	内容
15:40	オープニング（主催者挨拶）
15:43	資料説明～質疑応答
15:50	ワークショップの手順説明
15:55	グループ内での各取り組み評価（意見出し）
16:15	目標についての意見整理
16:25	グループ発表（目標の改善案のみ）～全体確認
16:33	クロージング
16:35	終了

当日のワークショップ風景



1 国際物流拠点機能などの充実

グループ1：山崎敬雄、渡邊忠芳、柄澤 崇、小熊甚蔵、渡邊一政、小出隆嗣

目標の改善案

(修正案) 国際物流拠点機能の早期整備及び企業誘致の促進

東港の物流機能を支えるインフラ整備（特に中央環状線の早期整備）と併せて、企業誘致を促進することで、拠点性のさらなる向上が図れると考えた。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

(1) 「新潟中央環状線の整備」に対する評価

- 中央環状線が豊栄までできてとても助かっている。
- 着手整備が始まっている。

- 中央環状線の整備計画の大幅な遅れ。
- 県道から大阿賀橋までの計画が見えていない。
- 環状線の交通の流れが悪い。信号をもっと考えてほしい。
- 中央環状線の整備がなかなか進まない。いつ大阿賀橋まで通じるのか。
- R49 まで整備しないと道路としての利用価値が低すぎる。

(2) 「ござれや阿賀橋の整備」に対する評価

- ござれや橋の開通は、阿賀野川に架かる橋が増えたことで、防災上も大変有意義であった。
- ござれや橋ができて交通渋滞が少なくなってよかった。【1班+4班】
- 供用開始ができています。
- ここまでは順調、今後は？

- 阿賀野川土手の上り降り口の標識に夜光塗料を！【4班】
- 濁川左岸の道路の拡張を！！【4班】

(3) 全体評価、その他

- 東日本大震災のバックアップができた。【2班】
- 国際海上コンテナベースの整備が順調に進められている（ヤードも含め）。【2班】
- 全国初のコンテナ埠頭への鉄道乗り入れが進められている。
- 住民バス（おらって）の運行に行政の協力があり、良い結果が出た。【3班】

- 臨港鉄道の再開。
- 東港と黒山（JR）貨物線の接続。
- 東港物流の充実には鉄道の活用をもっと重視すべきではないか。
- 東港北区側に工場用地の造成。
- 国際物流拠点機能の充実と工場誘致。
- 国際物流拠点整備は、県と市は言葉だけでなくもっと予算をつぎ込むべき。
- 東港物流コンテナターミナルができて、地元には何にもメリットがない。
- 国道113号線東港までの接続を急ぐ。【2班】
- 防災面の取り組みを急ぐ。【2班】
- 北区役所に東港の専門部署がない。【2班】
- 小学生などに見学してもらい、東港での物流を勉強してもらいたい（喜ぶと思う）。【2班】
- なかなか東港に入る機会がない。【2班】

2 魅力ある農水産業の推進

グループ2：坂上勝利、中谷内信一、寺山知子、渡辺正則、阿部淳一、山田光行、尾崎利枝子

目標の改善案

(修正案) 採算性のある魅力ある農水産業の推進

北区の農水産物の魅力を「ただの魅力」にとどまらせることなく、魅力を生かした採算性のある農水産業の推進が必要だと考えた。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

全体評価

- 農業生産法人が増えた。
- シルクスイートの栽培が始まった。
- トマトの知名度はアップしていると思います。
- 南浜メロンはとても美味しい。他区の方にも味わってもらおう機会を希望。
- トマトなど一本化して北区のブランドとして売り出しをする。長期的に見て大きくしてゆく。
- 「やきなす」市場ツアー等で喜ばれます。PR 拡大を！
- 砂畑地（タバコ作付け後）に何が作られるか、専門的に調べてそれで採算が合うものに力を入れる。

- 農業の支援（販路）を強化してほしい。
- 販売ルートの拡大。
- 「キテミテキタク」イベント内容を、もう少し夢のあるものに。昔の気球体験等。
- 豊栄「道の駅」の様子がわからない。情報発信をもっと！
- 高齢の方に配達サービス等（町内商店）。ただコンビニ、etc も始めているのでどうか.....。
- 農産物のPR、市場のPRを充実してほしい。
- 給食の「地場農産物使用」のことを知らない。保護者等にもわかってもらう。

3 豊かな自然環境の保全と活用

グループ3：関口忠邦、藤原岩年、小林敏雄、高橋光久、上田 巖、坂上正吾、工藤朋大

目標の改善案

(修正案) 特に変更の必要なし。

重要な要素は十分に含まれているため。

これまでの取り組み評価

プラスの評価	マイナスの評価
--------	---------

全体評価

<ul style="list-style-type: none"> ○地域の貴重な植物を保全できた。十二潟、福島潟は人が関わるのが大切。 ○学校全遠足の際、濁川公園について整備が良く行き届いている。 ○十二潟は地元で保全活動がんばっている。 ○区民が気づいていない地元の魅力を洗い出すと、いくらでも出てくるはず。 ○校区砂丘公園の整備が、地域と協力して8年ぶりに蘇る。 <p>〈地域の宝物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福島潟は野鳥の宝庫。 ○新潟競馬場は日本海側が誇る競馬場。 	<ul style="list-style-type: none"> ○貴重な動植物の状況をPRする必要があった。 ○緑地公園の整備管理の不備？ 遅れ？ ○加治川的环境整備は目に見えない。特に海側。 ○地域公園の整備、用具、遊具の点検や取り替えを早め実施してほしい。 ○鳥見浜海水浴場の整備不足？ PR不足？ ○福島潟のPRが足りない。区ビジョンの中でも大きく取り上げるべき。 ○福島潟の自然保全と治水の改善・改良はうまくいっていない。
---	---

4 安全で快適な居住環境づくり

グループ4：藤田清明、泉美樹子、近藤良雄、澤 玲子、渡邊敏文、吉丸英治、高野義晴、石黒信義、近藤 守

目標の改善案

(修正案) 安全で快適な生活環境づくり

改善の理由は、「居住」という表現は、「住宅」という狭い範囲のイメージがある。もっと広範囲に捉えて「生活」とした方が良いと考えた。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

(1) 「杉名調整池、早通調整池の整備」に対する評価

○(浸水地域) 早通北の安全確保に役立ちました。

(3) 「組織への活動助成金の増額、北区版避難所運営マニュアルの作成」に対する評価

- マニュアルは実際現場での訓練の上作っていることが良い。
- マニュアル作りを通じて、地域住民と行政と自治協議会が入り、一つのことをまとめあげること。
- 避難所運営マニュアルは何回か修正し、マンガを入れたりしてとても見やすくてわかりやすく仕上がって良かったです。
- 作成する側のマニュアルではなく、利用する側(使用する側)からのマニュアルが作成できた。

- 空き家の増加に対する対応を早めに。
- 災害時のサイレンが小さすぎる。外にいても聞こえない！もっと大きく！！
- できたマニュアルを地域住民にどう知ってもらい、どうそれを実践するかが課題だと思う。
- マニュアルはできたが、利用、使用していかないと意味がない。
- 避難所運営マニュアルの活用に対する働きかけを今後、行政からコミ、自主防に！！
- マニュアルがある事に安心してしまうのが危険。リーダー等の研修も必要では？
- 要援者名簿を役員と組長まで徹底してもいいのでは？

5 学習環境の整備と福祉のまちづくり

グループ5：小林 勝、若月則子、高橋 剛、阿部紀夫、本間利枝、山田暢大、小川 正、頓所洋一、栗林裕之

目標の改善案

(修正案) まなびと福祉のまちづくり

よりわかりやすい表現に換えた。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

(1) 「北区文化会館の建設」に対する評価

- 北区文化会館の駐車場が良い。
- 文化会館を地域の方が活用している。
- 市民待望の芸術文化の拠点である文化会館の建設を評価する。
- 講演会（特に星野富弘さん）の内容がとても良かったと聞きました。
- 音響が良く素晴らしい。
- 住民の文化意識が高まった。
- 公民館分館の廃止によって施設利用が分かりやすくなった。
- 北区郷土博物館が誕生した。（豊栄→北区全体）

- 人が集まるように、北区文化会館に喫茶ルームが必要。
- 北区文化会館の使用料が高いため利用しにくい。
- 北区文化会館を利用し、子どもたちの学習環境を整備して行く。
- 「文芸あがきた」は投稿者が旧豊栄市民が多いが、旧新潟市からは非常に少ない。区の一体感のために更なる丁寧な取組みを。
- 北区郷土博物館が誕生したが、その基本方針を欠いた。文字通りの郷土博物館とするために、通史展示に改め区の一体感を図れ。

(2) 「すこやか・あんしん・ふれあい事業の実施」に対する評価

- ネットワークングカフェでの情報交換はすばらしいと思う。

- 思春期・成育期の子どもたちへの対応。
- 思春期の子を持つ親へのアプローチ。
- 住民の癒しの場づくり。
- 福祉の情報をわかりやすく発信してほしい。活用の仕方がわからない。
- お茶の間サロンのような地域の方が集まる所に予算をまわしてほしい。地域力アップになると思います。
- 地域住民の傾聴してもらえる居場所づくり。
- 市民の居場所が必要。
- 小学校の先生の心のゆとり。
- 先生方の笑顔が子どもを元気に！
- 他人の心を大切にすまちづくり。
- 地域コミュニティと学校とが連携し、未来を担う子供たちのために取組んで行くことを決めて行動する。
- 命の教育。（小学校低学年からの）
- 笑顔いっぱい学校づくり。
- 学校環境の整備を図るために、学校の適正配置計画が策定されたが、“地域合意”に任せただけで、全く進まない。教委ももっと前に出るべき。
- 虐待をなくす取組み強化。
- いじめをなくす取組み強化。
- 自殺予防。命を考える。

(3) 「笑顔・すこやか健康応援事業の実施」に対する評価

- 特定検診（メタボ）の受診率は市全体、北区でも30% 台と極めて低い。国保料の値上げを防ぐためにも、さらなる市民周知の取組みを求めたい。
- 検診率が低いという話をよく耳にしますが、会場や日程が合わない方も多いようです。

※目標6として「住民自治あふれるまちづくり」を追加すべき